

## ～元気の出るエピソード～

病棟では新型コロナウイルス感染予防の為、実施できる活動が例年と比較して限られています。その中でも患者様に生活の中で楽しみとなれるような活動を提供できるよう、毎月レクリエーション委員会では季節に合った活動を計画・実施しています。

7月には〔七夕会〕と言う名目で短冊作りや飾りつけ、音楽活動等を行いました。ある患者様は短冊作りの際に、「家族のみんなが健康になれますように」とペンを執っていました。普段はコミュニケーションが少ない方で文字を書く機会も多くありませんが、家族様の健康を願って力を注がれている様子が強く印象に残っています。

活動を通して、患者様から大切な人への思いやりの気持ち、家族の絆について考える機会を頂き、今後もより良い活動が提供できるように尽力していきたいと思っています。

作業療法士 加藤大貴

## 診もり短歌



百四歳の老女の生きる食欲  
老いてなお食欲ありし百四歳  
介護の娘と並び向きあう  
Dr.ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります



# よつば 通信



# 9月号



発行日 令和3年9月1日



今年も早いもので、もう9月。秋晴れのさわやかな季節を迎えます。皆様いかがお過ごしでしょうか。三階病棟介護主任畠山と申します。開院から十数年、患者様、そして、共に歩んだ職員...たくさんのお出会いと学びがありました。その出会いの中で、恩師である認知症認定看護師の教えを思い出しながら、志を共にする仲間と『心に寄り添ったケア』を患者様一人一人に提供できるよう日々励んでおります。今後とも宜しくお願い致します。

今年はオリンピックイヤー。当院では、新型コロナウイルスへの感染予防のため長期にわたる面会制限をさせて頂いておりますので、オリンピック開催中の患者様の様子を少しお伝えできればと思います。

オリンピック観戦が楽しみで、毎日のようにテレビの前には中継を待ちわびる患者様の姿がありました。とある日のデイルーム。『キヤー』と悲鳴が上がり何事かとあたりを見回すと、テレビの前に座った女性が両手で顔を覆いながら俯いています。駆け寄り確認すると、スケートボードの選手が転んでしまった中継を見て悲鳴を上げてしまったようです。新種目のスケートボードに興味を持ち中継を食い入るように観ていることに驚きながら、悲鳴を上げるキュートな一面に気持ちがほっこりと温かくなりました。しかし...その後も選手が転ぶたびに悲鳴が上がり何事かと何度もヒヤヒヤさせられたのは言うまでもありません。

オリンピックの開催については賛否両論。しかし、選手たちのメダルを目指す懸命な姿は、患者様に元気を届けてくれました。職員にとっても、病棟内で患者様に窮屈な思いを感じさせないよう工夫が必要だと実感できる良い機会になったと前向きに捉えています。

変異株が猛威を振るう中、少しずつワクチン接種も進んではいますが、まだまだ気を緩めることはできません。職員一同、さらに気を引き締め感染予防に努めて参ります。患者様、家族様が笑顔でご面会される姿を心に思い描きながら...

三階病棟介護主任 畠山 英記



## ～ よつばご飯 ～



※写真は職員食の写真となります。

献立  
主食：うなぎ丼  
副菜：ほうれん草のお浸し  
汁：豚汁  
デザート：桃の杏仁

栄養価  
エネルギー：540kcal  
たんぱく質：23.3g  
脂質：18.9g 塩分：3.4g  
※行事食につき、栄養価は若干高めになっております

管理栄養士 水野俊

## 外来案内

| 診療科目     |       | 月     | 火   | 水                     | 木  | 金              | 土  |
|----------|-------|-------|-----|-----------------------|----|----------------|----|
| 午前       | 認知症外来 | 鈴木    | 非常勤 | 非常勤                   | 鈴木 | 鈴木・非常勤<br>(隔週) | 休診 |
|          |       | 根岸    |     | 一木<br>(9/1,9/15,9/29) |    |                |    |
|          | 一般内科  | 白濱・窪山 |     | 白濱・窪山                 | 窪山 | 窪山             |    |
| 午後(新患のみ) |       |       | 鈴木  |                       |    |                | 休診 |

※内科受診に関しては、他院での受診をお願いさせていただく場合がございます。

| 受付時間       |             | 診療時間       |             | 面会時間         |
|------------|-------------|------------|-------------|--------------|
| 午前         | 午後          | 午前         | 午後          |              |
| 8:45～11:30 | 13:00～15:00 | 9:00～12:00 | 14:00～17:00 | 現在<br>面会制限中※ |

※入院患者様への面会を全面禁止とさせていただきます。ご了承ください。  
スカイプを利用したのオンライン面会は予約制のためご連絡ください。



医療法人社団 心の絆  
よつば訪問看護リハビリステーション  
電話：048-796-5157

蓮田よつば病院  
ディケアわかば

## 病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～  
お電話での予約が必要になります  
・紹介状  
・お薬手帳をご持参ください。  
予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい  
○休診日○  
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 認知症カフェ  
はすカフェ  
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施  
毎月第一土曜日 10:00～12:00

はすカフェは現在中止しております。



## 看護部の取り組み

### 認知症の症状への対応について

認知症とは、脳の細胞がダメージを受けて認知機能が低下して、日常生活にお手伝いが必要になる病気です。「お手伝いが大変」と感じる症状が出てくることがあるかと思います。そのような症状があった際の、対応のポイントをご紹介します。

#### イライラしている・すぐ怒る

認知症の方は、わからないことが多くなったり、これまでできていたことができなくなるなど、常に不安な気持ちでいます。言葉がわかりづらくなり、相手の言っていることが理解できない、思っていることがうまく伝えられないことからいらだち、怒ってしまうことがあります。脳の理性をつかさどる部分が障害されていくと、我慢ができず、自分の思うとおりに事が進まないと怒ってしまうこともあります。一人ではできないことがあるときは、さりげなくお手伝いをするのが大切です。また、何をしたいと思っているのか、何を伝えたいと思っているのかそれまでのご本人の性格や嗜好、生活習慣を考慮して予測して対応していきます。



#### 同じことを何度も言う

認知症になると、新しいことを「覚える」、「思い出す」「記憶にとどめる」能力が低下します。なので、ご本人にとっては話されても「聞いた記憶がない」のです。なので、聞かれたら何度も説明をする。文字の理解が可能ならば紙に書く、メモの活用が有効です。メモ用紙もご本人の目を引くご本人が好きな色やイラスト入りのものがよいかもしれません。何度も説明し、疲れてしまったら話題を変えたり、その場を離れてリフレッシュすることも大切です。



認知症認定看護師 小藤 静香

## ～よつば訪問看護リハビリテーション～

訪問看護は住み慣れたご自宅に看護師や理学療法士、作業療法士が訪問します。コロナ禍で病院の医療ひっ迫が深刻となり気楽に受診することができなくなる、また熱が出るとコロナ感染ではないかと必要以上に心配になるかと思います。訪問看護の利用者様は病院受診を考える前に、訪問看護師がご自宅に訪問し、すぐに病院受診が必要なのか、ご自宅で様子をみて良い状態なのかを判断する事ができます。

またご自宅に医師が訪問する訪問診療という制度もあります。月に2回定期的に医師が訪問して、薬の処方や普段の状態を把握して頂き、具合が悪くなった時には臨時で訪問します。必要であれば在宅酸素の手配や在宅での点滴等を行います。訪問看護は訪問診療の医師やケアマネージャーとも連携し、在宅生活を支えています。

よつば訪問看護としては利用者様の安心安全を確保すべく、病気を予防し病状悪化をさせない、悪化する前に早めにかかりつけ医に相談する、在宅で出来る限りの治療ができるよう訪問診療と連携して安心して自宅で過ごすことができるよう支援していきます。その結果医療ひっ迫の改善になるのではないかと考えております。まだまだ気の抜けない日々が続きますが、皆様が笑顔になれるよう精進していきますのでよろしくお願い致します。

訪問看護所長 藤代 真弓

## 作業療法士からのお知らせ

### 『コロナ禍での認知症予防の取り組み』

QOL推進部リハビリテーション科では、認知症予防のため、当院の外来やデイケア利用前の、地域にお住まいの方も参加できる活動を行ってまいりました。内容は、第1土曜日に「はすカフェ(認知症カフェ)」、第3土曜日に「認知症予防教室」を当院で行ってまいりました。しかし、コロナ禍の現在は、人が集まる場面での感染拡大が危惧されており、活動が休止となっています。

ここで改めて「認知症予防」についてお話させてください。「認知症予防」とは認知症の発症時期を遅らせることだけではなく、**認知症の状態を早期に発見して重症化を予防する、再発を予防する**、という意味もあります。私たちは認知症予防について、“認知症になっても安心して住み慣れた地域で生活できる”ことを目指しております。

認知症予防には、主に①運動、②認知トレーニング、③食事・健康管理、④人との交流、が良いとされています。しかし、コロナ禍で様々な活動が休止となり、外出自粛の呼びかけも多く、これらのことを行う機会が以前よりも減ってしまっているように感じます。そこで、このご時世でもできる認知症予防はないかと考え、約1年前から脳活資料の送付を始めました。

脳活資料の主な内容は、歌詞の穴埋め、クロスワード、間違い探し、体の柔軟体操、筋力アップ体操、封筒作りセット、ブンブン独楽作りの説明書、ちぎり絵作りセット、夏を乗り切る栄養学資料等です。季節ごとに皆様が必要で、尚且つ楽しいと感じて頂ける内容を考え、送付してまいりました。

当院での認知症予防の活動休止から約1年半が経とうとしております。しかし、資料の解答を返信する際に手紙を添えて近況を教えて下さったり、医療従事者の我々のためにマスクを100枚近く縫って寄付して下さったりと、活動参加者の方との交流は今も続いております。こうしたやり取りを含めて認知症予防の一助になっていると思います、活動再開まで続けていきたいと思っております。

資料に関しましては、当院で閲覧ができます。リハビリテーション科宛にご連絡いただけたらと存じます。



QOL推進部 リハビリテーション科科長 小林祐子

### ～よつば病院作業療法風景～

#### コーヒー療法



#### 飾り付け準備



### 今月の予定

- 誕生会 2階・3階病棟  
随時おこないます
- 敬老会レクリエーション  
2階・3階病棟 9月下旬予定

感染症対策のためはすカフェ、クラブ活動等を中止させて頂いておりましたが、周囲のワクチン接種の状況をみながら、再開の調整を行って参ります。